

## 山崎 有記

先日、郡市中体連夏季大会が行われました。私はバスケットボール部主将として、「一回戦突破」を目標に練習を重ねてきました。これまでの大会では結果が出ず、悔しい思いがありました。

大会当日、ドキドキしながら会場に入りました。ウォーミングアップでは、チームとしての動きを最終確認し、「私たちなら大丈夫」とお互いに声をかけ合って、気持ちを落ち着かせました。

試合が始まってみると、前半からチームメイト全員が強気なプレーで臨むことができました。練習で強化してきたディフェンスもうまくできました。これまで経験したことがないくらい楽しくプレーできました。そして目標であった「一回戦突破」を達成することができて嬉しかったです。

2回戦は強豪校との対戦でした。3月に他校に転勤した前の監督が応援に来てくれました。初戦を突破した野球部も応援に来てくれました。試合では、自分たちのプレーができず、下を向いてしまうこともありました。タイムアウトやインターバルの時には野球部が大きな声で声援を送ってくれました。会場中に声援と手拍子が響きました。その応援に「少しでも応えたい」という気持ちで私たちは頑張りました。

最後には力尽きてしまいました。残り時間が20秒を切り、このメンバーとプレーできるのもあと少しだと思えば涙が止まりませんでした。

この大会で私たち3年生は引退です。いつも試合の送迎や応援をしてくれた保護者会の皆さんにはとても感謝しています。後輩たちには私たちが行けなかったステージまで駆け上がってほしいです。